

(4) 安全・安心の備中

事業名 中山間地域支え合い安全安心推進事業<地域活力創出事業>

<概要>

中山間地域の日常生活の課題について、まず無医地区や医師の常駐していない診療所が多いことや、バス路線の廃止等による公共交通の利便性の悪化や買い物弱者の発生等が挙げられるため、保健医療と日常生活の両面の支援や調査を行い、課題解決を図る。

<実施計画>

1 地域における保健医療従事者の育成支援事業

県内の医療従事者養成大学等の学生が、離島や中山間地域の医療過疎地域に赴き、地域住民と触れ合いながら健康教育を実践したり、地域医療の体験を実施するなど、地域医療への理解を深めるための活動を体験する。

(1年目) 看護系大学による2地域で実施

(2, 3年目) 医療従事者養成大学等にも対象を広げ、3地域で実施

2 日常生活の総合支援についての調査研究

買い物支援、配食サービス、安否確認などの日常生活支援がソーシャルビジネスとして確立できるよう、市町村と協力し、JAや郵便局など地域に密着した団体の活用など幅広く調査研究を行うとともに、具体的な日常生活支援策に対して事業支援を行う。

地域における保健医療従事者の育成支援

【課題】人口減少がすすみ、地域活力の維持が必要
倉敷地域以外は医師、看護師等が不足しており、特にへき地や離島で顕著

1年目: **看護系大学(看護師)**
(2年目以降: 医療従事者養成大学等(作業療法士等)に拡大)



質の高い人材育成へ

へき地の生活や医療はどうなっているの？
講義だけではわからない体験をしてみたい！

フィールド
の提供

人材育成を支援

県民局

地域の活性化
(地域医療への支援を通じて)

学生が地域へ出向き
・地域医療や介護の体験
・健康教育、伝統行事参加

へき地、離島を有する市町

NPO

町内会

地元医療機関

訪問看護・訪問介護等

医師会

若い人との交流が楽しみじゃな！
みんなで地域や健康について考えてみるかな。



期待できる成果！

- へき地や離島の医療に理解、興味を持つ学生の増加(医療従事者の確保)
- 住民相互のきずな、連帯感の高まりによる地域活力の創出

事業名 防災力・防犯力強化事業<地域活力創出事業>

<概要>

近年の少子高齢化からくる中山間地域の集落機能の低下や、住民のコミュニティへの帰属意識の希薄化は、地域の防災力・防犯力を弱体化させる要因の一つとなっている。

東日本大震災の発生を契機に、これまで以上に地域の防災力強化が求められており、また、犯罪の起こりにくい社会の実現を目指して、地域社会の連帯感を強化し防災力・防犯力の強化につなげる取組を行う。

<実施計画>

1 東日本大震災に関する情報交換会の開催

(1) 派遣職員による活動内容の取りまとめ

(2) 県民局、市町の派遣職員、NPO、防災専門家等による東日本大震災の支援活動の情報交換会の開催

2 小規模高齢化集落防災力強化事業

「おかやま元気！集落」（山間部と海岸部の2箇所をモデルとして想定）において、災害時要援護者避難支援プランの個別計画策定から当該計画に基づく住民主体の防災訓練までをモデル的に実施し、課題を検証することで、小規模高齢化集落の避難支援モデルを構築する。

3 地域社会の連帯感・きずなづくり支援モデル事業

地域社会で行われる高齢者宅への訪問や各種スポーツ大会等、住民が多数参加する地域社会の連帯感・きずなづくりにつながるモデル的な取組を支援する。

防災力・防犯力強化事業

【防災】

東日本大震災に関する情報交換会

- 参集範囲：県民局、管内市町、NPO
- 内容：派遣職員の活動内容を報告書に取りまとめ、被災地の現状や課題等をふまえた災害支援のあり方について意見交換を行うとともに、災害対応の重要性を啓発し、地域防災力の強化につなげる。

小規模高齢化集落防災力強化事業

- 内容：NPOの支援を受けて災害時要援護者避難支援個別計画から住民主体の防災訓練までをモデル的に実施する。
- 事業計画（1年目～2年目）：モデル事業実施地域は、「おかやま！元気集落」とし、1年目は山間部で、2年目は海岸部で実施する。
- 報告書の作成（3年目）：課題を検証し管内市町を対象に報告会を開催



【防犯】

地域社会の連帯感・きずなづくりモデル事業

- 支援対象：地域社会の連帯感・きずなづくりにつながる取組の支援「日常生活に密着した活動」、「地域の課題に応じた課題」、「地域住民が参加する各種イベント」
- 市町村、県民局、警察本部が連携して支援